

補正予算審議



10月定例会の様子

一般会計に85億1844万円を追加 町の復旧・復興を中心に質問

10月定例会は、10月20日から27日まで8日間の会期で開かれました。一般質問（8ページ15ページに掲載）には8人が登壇し、復旧・復興について質問。公的施設の復旧やこれからの町の復興についていただきました。84億円を超える一般会計と各特別会計の平成22年度決算認定案は決算特別委員会の審議の結果すべて認定されました。そのほか、一般会計補正予算など14件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決し会期を閉じました。

一般会計に通常の年間予算相当額、85億1844万円を追加するなど平成23年度の補正予算6件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決されました。

今回の一般会計の補正は、東日本大震災で生じたがれきの除去業務委託料が大半を占めており、主なものと質疑の概要は次のとおりです。

- ▽東日本大震災支障物除去費（支障物除去業務委託料）
- ▽その他基金費（山田町復興まちづくり基金積立金）
- ▽補助教育施設災害復旧費（用地取得費）
- ▽道路維持費（町道美化作業員賃金・緊急雇用事業）
- ▽農業振興費（東日本大震災農業生産対策交付金）
- ▽災害救助費（仮設トイレ）

77億4606万円
3億4000万円
9060万円
2574万円
2404万円

賃借料）
600万円

▽予防費（ユニセフインフルエンザ予防接種委託料）
500万円

国土調査事業を家の境界確認に

問 国土調査事業について、家が被災した山田、大沢地区は調査がやりやしいと思うので、現在行っている調査をそちらに振り分